

新寺地区環境保全会〔大河原町〕

地区概要	取組面積：17ha（田17ha） 資源量：開水路7.5km パイプライン -km 農道2.2km ため池 3箇所
平成29年度交付金	農地維持支払交付金 507千円 資源向上支払（共同活動）交付金 -千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 -千円
地域の概要	新寺地区は大河原町の西部に位置しており、明治初期には新寺村として存在し、住民団結の意識の高い地域です。背後に里山を抱く入り江状の未整備農地（10a）が広がる典型的な農村集落です。
取組みの概要	活動組織は、行政区を母体として非農家を含めた42戸の全世帯が参加しています。 構成員は農業者41人、非農家19人の計60名で活動しており、親子・夫婦での共同活動に参加している活動2年目の組織です。 基礎活動としては、用排水路及びため池の草刈及び江払い（土砂撤去）、施設の点検・砂利道の補修等の基本活動のほか、昨年は農道路肩に水仙の球根植栽活動を実施しています。
取組みによる効果	今まで、農家と非農家の繋がりは希薄でしたが、共同活動を行うことにより会話が生まれ意見の交換が始まり、地区の問題点や今後の活動等まで発展し、横のつながりが増えました。 事業取組前より地区としての団結心が強まり、自分達で何が出来るのか？地域の将来のあり方について前向きに考える構成員が増えました。
今後の課題	外部からの転入者（非農家）が少なく、構成員の家庭においても後継者不在や地域の少子化により構成員の平均年齢も上昇し、共同活動の継続が困難になる時期が迫ってきています。 今後、地区外の子世帯の参加を促しながら、今後の共同作業のあり方を検討する必要があります。
その他	新寺地区は非農家の理解を得て全世帯加入により、地域一丸となり自然環境の保護・農村資源の保全活動に取り組んでおり、まだ手探り状態の活動組織です。 今後は、子ども会などの協力を得ながら、用排水路や農道脇の清掃活動に取り組んでいきたいと模索中です。



総会の開催



共同作業（草刈り）前の集合写真



幹線排水路の草刈作業



管理が行き届かない水田の草刈



農道路肩へのスイセンの球根植栽



小規模用水路の整備

※施設の長寿命化への運用により実施
（資材は町、機械は農家組合からの提供）